

平成27年5月18日
相模原市発表資料

中道志川トラスト協会 『稚鮎放流』の実施結果について

中道志川トラスト協会（尾崎俊晴会長）では、毎年、清流と鮎おどる「道志川」復活のため、稚鮎の放流事業を実施しています。

かつての道志川の風物詩である、鮎が遡上する風景が再び訪れることを願い、5月17日（日）午前11時から、青野原オートキャンプ場の河原をメイン会場とし、中道志川トラスト協会会員、近隣自治会及びキャンプ場来場者により、相模原市緑区内を流れる道志川流域に約25,000匹の稚鮎を放流しました（参加者数 約100名）。

放流に参加した子どもたちは、「きれいな道志川で大きく育ててほしい」と話していました。

中道志川トラスト協会では、清流道志川が次の世代へと引き継がれるため、稚鮎の放流、河川美化活動、川とのふれあい体験事業など、貴重な水源や自然環境を守るための様々な川のトラスト活動を行っています。



<お問い合わせ>
津久井地域環境課
電話 042-780-1404